

職域等も含めた肝炎ウイルス検査受検率向上と 陽性者の効率的なフォローアップシステムの開発・実用化に向けた研究

研究分担者：永田 賢治 宮崎大学医学部附属病院肝疾患センター 准教授

研究要旨：

宮崎県における肝炎ウイルス検査陽性者の
効率的なフォローアップシステム構築に向けた研究

A. 研究目的

宮崎県における肝炎ウイルス検査の現状を把握し、陽性者の追跡調査を行うためのシステムを構築する。ウイルス肝炎検診における陽性者をフォローアップし、適切な治療につなげることで肝炎を治療し肝臓の発症および死亡者数を抑制することが期待される。

B. 研究方法

宮崎県における肝炎ウイルス検査の現状を把握のため、平成19年より実施されている肝炎ウイルス検査について県内各市町村における肝炎検診およびフォローアップ方法について調査を行う。肝炎ウイルス陽性者の追跡調査について陽性者に対する受診勧奨方法については一部の市と連携して、肝臓専門医受診および最適治療受療にむけたフォローアップシステム方法を構築する。また、肝臓非専門医に対する肝炎診療に関するアンケートを行う。

（倫理面への配慮）

研究の実施に際しては調査計画について宮崎大学医の倫理委員会の承認を得た。

C. 研究結果

これまでの県内各市町村における肝炎検診担当者との協議および検診方法への支援・助言により、宮崎県内の肝炎検診受診者数は平成26年度の19,444件から平成27年度は38,885件（B型、C型合計）に増加した。これらの検診受検者の陽性者に対するフォローアップ方法について各市町村の担当者より聞き取り調査を実施した。肝炎ウイルス陽性者に対する受診勧奨について各担当者と平成30年度の実施内容について協議中である。また、肝臓非専門医に対する肝炎診療に関するアンケートを県医師会と協議して平成30年度に実施予定である。

D. 考察

肝炎検診陽性者への効率的なフォローアップシステムの構築のためには各自治体での対応には差があり、今後は各地域での対応についても調査し、よりきめ細やかな対応ができるよう各自治体検診者、地域医師会と連携していくことが重要と考えられた。

E. 結論

ウイルス肝炎検診陽性者を早期治療につなげるための適切な受診勧奨が肝癌死亡抑制に重要であり、検診実施自治体、地域医師会と協力したフォローアップシステムの構築および実用化が必要である。

F. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Ozono Y, Takaishi Y, Tsuchimochi M, Nakamura K, Abe H, Miike T, Kusumoto K, Iwakiri H, Sueta M, Tahara Y, Yamamoto S, Hasuike S, Nagata K*, Shimoda K.: Prediction of Sustained Virological Response to Telaprevir/Simeprevir-Based Triple Therapy in Patients with Genotype 1 Hepatitis C Virus Using Super-Early Viral Response within 2 Weeks. *Journal of Liver* 6(6) : doi:10.4172/2167-0889.1000218 (2017)
- 2) Ozono Y, Nagata K*, Hasuike S, Iwakiri H, Nakamura K, Tsuchimochi M, Yamada Y, Takaishi Y, Sueta M, Miike T, Tahara Y, Yamamoto S, Shide K, Hidaka T, Kubuki Y, Kusumoto K, Ochiai T, Kato J, Komada N, Hirono S, Kuroki K, Shigehira M, Shimoda K: Efficacy and safety of sofosbuvir and ledipasvir in Japanese patients aged 75 years or over with hepatitis C genotype 1. *World Journal of Hepatology*. 9(36) : 1340-1345 (2017)

2. 学会発表

- 1) 永田賢治、蓮池悟、高石優佳、大園芳

範、土持舞衣、中村憲一、岩切久芳、末田光恵、下田和哉：当科におけるエンテカビル投与症例の長期成績についての検討第42回日本肝臓学会西部会2017

- 2) 中村憲一、岩切久芳、鈴木陽香、田島栄美、高石優佳、山田優里、土持舞衣、末田光恵、蓮池悟、永田賢治、三原謙郎、下田和哉：Reverse hemangioma sign を呈した肝血管肉腫の一例第30回日本腹部造影エコー・ドプラ診断研究会 (JACUA)2017

- 3) 永田賢治、蓮池悟、下田和哉：高齢者C型慢性肝炎症例に対するソホスビル+リバビリン併用療法の有用性の検討第103回日本消化器病学会総会2017

- 4) 岩切久芳、永田賢治、高石優佳、山田優里、土持舞衣、中村憲一、末田光恵、蓮池悟、大園芳範、加藤順也、駒田直人、楠元寿典、落合俊雅、黒木和男、弘野修一、重平正文、下田和哉：高齢C型慢性肝疾患に対するソホスビル+レジパスビル併用療法の治療成績第53回日本肝臓学会総会2017

- 5) 小川宗一郎、中村憲一、高石優佳、大園芳範、土持舞衣、楠元寿典、岩切久芳、末田光恵、蓮池悟、永田賢治、下田和哉：FDG-PETにて集積を認め肝細胞癌との鑑別が困難であった肝血管筋脂肪腫の一切除例 第110回日本消化器病学会九州支部例会・第104回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 2017

- 6) 中村憲一、楠元寿典、高石優佳、土持舞衣、亀田拓郎、末田光恵、岩切久芳、蓮池悟、永田賢治、松浦裕之介、落合俊雅、黒木和男、下田和哉：高齢HCV感染患者における抗ウイルス治療後の介護保険

導入に関わる因子の検討 第21回バイオ治療法研究会学術集会 2017

G. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし